

微生物を用いる変異原性試験結果報告書

1. 一般的事項

新規化学物質の名称 (IUPAC 命名法による)	N-デシル-N, N-ジメチルデカン-1-アミニウム・クロリド		
別 名	/		
構造式又は示性式 (い ずれも不明な場合はそ の製法の概要)	$ \begin{array}{c} \text{CH}_3 \\ \\ \text{H}_3\text{C}-\text{N}^+-\text{(CH}_2\text{)}_9-\text{CH}_3 \\ \\ \text{Cl}^- \\ \\ \text{(CH}_2\text{)}_9 \\ \\ \text{CH}_3 \end{array} $		
試験に供した新規 化学物質の純度	95%	試験に供した新規 化学物質の Lot No.	T14Q
不純物の名称及び濃度	/		
CAS 番号	7173-51-5	蒸気圧	/
分子量	362.09	分配係数	/
融 点	94-100°C	常温における性状	固体
沸 点	>180°C		
安定性	法規制に従った保管及び取り扱いにおいては安定と考えられる		
溶媒に対する溶解度等	溶媒	溶解度	溶媒中での安定性
	水	0.39 g/L	/
	DMSO	50 mg/mL では溶解	発熱、ガスの発生等の反応性なし
	アセトン	/	/
	その他	/	/

(備考) 上記被験物質情報は、製造元、職場のあんぜんサイト及び GESTIS(2014)からの情報による。なお、溶解性及び溶媒中での安定性については、株式会社ポゾリサーチセンターで実施した溶解性試験の結果である。

2. 試験に用いた菌株

菌株名	入手先	入手年月日
<i>Salmonella typhimurium</i> TA98	国立医薬品食品衛生研究所	2017年4月12日
<i>Salmonella typhimurium</i> TA100	国立医薬品食品衛生研究所	2017年4月12日
<i>Salmonella typhimurium</i> TA1535	国立医薬品食品衛生研究所	2017年4月12日
<i>Salmonella typhimurium</i> TA1537	国立医薬品食品衛生研究所	2017年4月12日
<i>Escherichia coli</i> WP2uvrA	国立医薬品食品衛生研究所	2017年4月12日

3. S9 Mix

(1) S9の入手方法等

自製・購入の別	1.自製 2. 購入（製造元：キッコーマンバイオケミファ株式会社）
製造年月日	2017年11月10日
購入の場合 Lot No.	RAA201711A
保存温度	-86.1~-80.2°C (保存期間：2017年11月29日~2018年1月12日)

(2) S9の調製方法

使用動物		誘導物質	
種・系統	ラット・SD系	名称	PB& 5,6-BF
性	雄	投与方法	腹腔内投与
週齢	7週齢	投与期間及び 投与量 (mg/kg 体重)	PB4日間連続投与: 30+60+60+60(mg/kg 体重) PB投与3日目BF投与: 80(mg/kg 体重)
体重	196-240 g		

(3) S9Mixの組成

成分	S9Mix 1mL 中の量	成分	S9Mix 1mL 中の量
S9	0.1 mL	NADPH	4 µmol
MgCl ₂	8 µmol	NADH	4 µmol
KCl	33 µmol	Na-リン酸緩衝液	100 µmol
グルコース-6-リン酸	5 µmol	その他 ()	

4. 被験物質溶液の調製

使用溶媒	名称	製造元	Lot No.	グレード	純度(%)
	DMSO	和光純薬工業株式会社	TWG1526	JIS規格 試薬特級	99.0%以上
溶媒選択の理由	本被験物質は、水の溶解度が 0.39 g/L との情報より、DMSO の 50 mg/mL の濃度での溶解性を確認した。その結果、溶解し、DMSO を添加した際に、発熱、ガスの発生等の反応性も認められなかった。また、1 時間経過後の溶液に色調変化は見られなかった。そのため DMSO を溶媒として試験を実施した。なお、被験液の調製には、モレキュラシーブス 4A 1/16 (和光純薬工業株式会社 ; Lot No. JPF7829) で脱水した DMSO を使用した。				
被験物質溶液の性状	<input checked="" type="checkbox"/> 溶解 <input type="checkbox"/> 懸濁 <input type="checkbox"/> その他				
被験物質が難溶性の場合における懸濁等の方法					
溶液の調製から使用までの保存時間と温度	用時調製・室温				
純度換算の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				

5. 前培養の条件

(1) 条件

ニュートリエントブロス	名称	製造元	Lot No.
	Nutrient Broth No.2	OXOID LTD.	1554986
前培養時間	9 時間		
培養容器(形状・容器)	L 字管・48mL		
培養液量	10 mL	接種菌量	<i>S.typhimurium</i> 株 20 μL <i>E.coli</i> 株 10 μL

(2) 前培養終了時の生菌数等

菌 株 名		塩 基 対 置 換 型			フ レームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2 <i>uvrA</i>	TA98	TA1537
生菌数 ($\times 10^9$ /mL)	用量設定試験 1 回目	2.50	3.90	6.25	4.21	5.73
	用量設定試験 2 回目	2.81	3.84	6.70	4.19	5.71
	本試験 1 回目	2.81	3.98	6.65	4.19	6.75
	本試験 2 回目	2.65	3.89	6.80	4.19	6.17
測 定 方 法		①. O.D.値より換算 2. 段階希釈法 3. その他				

6. 最小グルコース寒天平板培地

自製・購入の別	1. 自製 ②. 購入 (購入元 極東製薬工業株式会社)
製 造 年 月 日	2017年11月14日
購入の場合の Lot No.	DZAI BE01
使用寒天の名称・製造・Lot No.	大洋寒天・SSK セールス株式会社・Lot No. BM-M5-268

7. 試験の方法

(1) 試験方法とその選択理由

採用した試験方法	①. プレインキュベーション法 2. プレート法 3. その他
その他の場合は その選択理由	

(2) 試験条件

組 成	菌懸濁液	0.1 mL
	被験物質溶液	0.1 mL
	Na-リン酸緩衝液（直接法による場合）	0.5 mL
	S9Mix（代謝活性化法による場合）	0.5 mL
	トップアガー	2.0 mL
プレインキュベーション	温度	37°C
	時間	20 分間
インキュベーション	温度	37°C
	時間	48 時間

8. コロニー計測の方法

計測方法	1. マニュアル計測 <input type="checkbox"/> 2. 機器計測 <input checked="" type="checkbox"/>
補正の有無	1 無 <input type="checkbox"/> 2 有（補正の方法 面積補正:補正值 1.21） <input checked="" type="checkbox"/>

9. 試験の結果

(1) 試験の結果は別表による。

(2) 結果の判定

判定	陽性	陰性
<p>判定の理由</p> <p>用量設定試験 1 回目の結果を別表 1 に、用量設定試験 2 回目の結果を別表 2 に、本試験 1 回目の結果を別表 3 に、本試験 2 回目の結果を別表 4 に、示した。なお、図 1~10 は別表 3 より作成した。また、当該試験の参考データとして参照した背景データを Attached Data として添付した。</p> <p>2 回の用量設定試験及び 2 回の本試験ともに代謝活性化の有無にかかわらず、いずれの菌株においても陰性対照値の 2 倍以上となる復帰変異コロニー数の増加は認められず、用量反応性も認められなかった。</p> <p>一方、陽性対照群では陰性対照群と比較して 2 倍以上となる復帰変異コロニー数の増加を示したことから、使用菌株の復帰突然変異誘発物質に対する反応は適切であったことが確認され、試験は適切に実施されたものと考えられた。</p> <p>以上の試験結果より、本試験条件下において N-デシル-N, N-ジメチルデカン-1-アミニウム・クロリドは、微生物に対する遺伝子突然変異誘発能を有しない（陰性）と判定した。</p>		

(3) 参考事項

本被験物質によるプレート上の沈殿は、代謝活性化した場合の 1250 µg/plate 以上の用量で認められた。本被験物質によるプレート上の着色は、代謝活性化の有無にかかわらず、いずれの用量においても認められなかった。実体顕微鏡を用いて菌に対する生育阻害を観察した結果、代謝活性化しない場合のすべての菌株の 4.88 µg/plate 以上、代謝活性化した場合のすべての菌株の 19.5 µg/plate 以上の用量で認められた。

用量設定試験において、代謝活性化しない場合のすべての菌株においては、実施した最低用量より生育阻害が認められ、本試験の用量を設定ができなかったため、生育阻害の認められた最低用量の 4.88 µg/plate を最高用量として以下公比 4 で 5 段階希釈した計 6 用量を設定した用量設定試験 2 回目を実施し、代謝活性化する場合のすべての菌株においては、生育阻害の認められない用量数が 4 用量以上得られなかったため同一用量で本試験を 2 回実施し、再現性の確認を実施した。

被験液の調製及び試験操作は、紫外線吸収膜付蛍光灯下で実施した。

被験液の調製において、本被験物質の純度が 95% であるため、秤量値に換算係数 0.95 として乗じた換算重量にて最高濃度を調製した。

(別表1)

試験結果表 (用量設定試験1回目)

被験物質の名称: N-デシル-N, N-ジメチルデカン-1-アミニウム・クロリド

No. T-2578

試験実施期間		2017年12月21日 より 2017年12月25日				
代謝活性化系の有無	被験物質の用量 ($\mu\text{g}/\text{プレート}$)	復帰変異数(コロニー数/プレート)				
		塩基対置換型			フレームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2uvrA	TA98	TA1537
S9Mix (-)	陰性対照 (DMSO)	112 92 (102)	12 9 (11)	17 21 (19)	18 21 (20)	6 9 (8)
	4.88	79 * 73 * (76)	11 * 3 * (7)	23 * 16 * (20)	6 * 8 * (7)	1 * 2 * (2)
	19.5	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)
	78.1	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)
	313	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)
	1250	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)
	5000	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)
	S9Mix (+)	陰性対照 (DMSO)	104 103 (104)	8 12 (10)	21 25 (23)	33 28 (31)
4.88		130 121 (126)	10 8 (9)	22 25 (24)	27 36 (32)	15 12 (14)
19.5		71 * 87 * (79)	4 * 6 * (5)	8 * 21 * (15)	24 * 23 * (24)	8 * 7 * (8)
78.1		0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)
313		0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)
1250 #		0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)
5000 #		0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)	0 * 0 * (0)
陽性対照		名称	AF-2	SAZ	AF-2	AF-2
	用量 ($\mu\text{g}/\text{プレート}$)	0.01	0.5	0.01	0.1	1.0
	コロニー数/プレート	470 465 (468)	380 342 (361)	86 77 (82)	333 387 (360)	1020 1120 (1070)
	名称	B[a]P	2AA	2AA	B[a]P	B[a]P
	用量 ($\mu\text{g}/\text{プレート}$)	5.0	2.0	10.0	5.0	5.0
	コロニー数/プレート	1058 1116 (1087)	259 264 (262)	587 598 (593)	411 373 (392)	100 96 (98)

(備考)

AF-2 : 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド
SAZ : アジ化ナトリウム
ICR-191 : 2-メトキシ-6-クロロ-9-[3-(2-クロロエチル)アミノプロピルアミノ]アクリジン・2HCl
2AA : 2-アミノアントラセン
B[a]P : ベンゾ[a]ピレン

* : 被験物質による生育阻害が認められたことを示す。

: 被験物質による沈殿が認められたことを示す。

()内は、2枚のプレートの平均値を示す。

(別表2)

試験結果表 (用量設定試験2回目)

被験物質の名称: N-デシル-N,N-ジメチルデカン-1-アミニウム・クロリド

No. T-2578

試験実施期間		2017年12月25日 より 2017年12月28日				
代謝活性化系の有無	被験物質の用量 (μ g/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)				
		塩基対置換型			フレームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2uvrA	TA98	TA1537
S9Mix (一)	陰性対照 (DMSO)	108 110 (109)	10 7 (9)	24 17 (21)	16 19 (18)	8 11 (10)
	0.0048	99 130 (115)	10 8 (9)	19 18 (19)	15 18 (17)	10 5 (8)
	0.019	108 110 (109)	8 11 (10)	22 22 (22)	22 16 (19)	4 8 (6)
	0.076	114 129 (122)	6 10 (8)	16 14 (15)	15 14 (15)	8 4 (6)
	0.31	117 100 (109)	7 7 (7)	18 15 (17)	16 19 (18)	8 8 (8)
	1.22	121 123 (122)	7 10 (9)	12 16 (14)	14 17 16)	5 5 (5)
	4.88	65 * 73 * (69)	0 * 0 * (0)	8 * 12 * (10)	5 * 5 * 5)	0 * 0 * (0)
	名 称	AF-2	SAZ	AF-2	AF-2	ICR-191
陽性対照	S9Mixを必要としなもの 用量 (μ g/プレート)	0.01	0.5	0.01	0.1	1.0
	コロニー数/プレート	464 473 (469)	268 311 (290)	77 85 (81)	336 327 (332)	1221 1058 (1140)

(備考)

AF-2 : 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド

SAZ : アジ化ナトリウム

ICR-191 : 2-メトキシ-6-クロロ-9-[3-(2-クロロエチル)アミノプロピルアミノ]アクリジン・2HCl

*: 被験物質による生育阻害が認められたことを示す。

()内は、2枚のプレートの平均値を示す。

(別表3)

試験結果表(本試験1回目)

被験物質の名称: N-デシル-N,N-ジメチルデカン-1-アミニウム・クロリド

No. T-2578

試験実施期間		2018年1月9日 より 2018年1月12日				
代謝活性化系の有無	被験物質の用量 (μ g/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)				
		塩基対置換型			フレームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2uvrA	TA98	TA1537
S9Mix (-)	陰性対照(DMSO)	106 117 (112)	9 10 (10)	23 26 (25)	22 20 (21)	9 10 (10)
	0.15	109 105 (107)	8 10 (9)	27 25 (26)	16 17 (17)	7 12 (10)
	0.31	94 109 (102)	10 7 (9)	24 25 (25)	20 18 (19)	7 13 (10)
	0.61	94 101 (98)	11 9 (10)	21 27 (24)	21 17 (19)	10 8 (9)
	1.22	91 93 (92)	5 10 (8)	26 23 (25)	22 19 (21)	9 4 (7)
	2.44	87 91 (89)	4 7 (6)	25 23 (24)	11 11 (11)	4 5 (5)
	4.88	43 * 34 * (39)	4 * 2 * (3)	23 * 23 * (23)	11 * 8 * (10)	2 * 4 * (3)
S9Mix (+)	陰性対照(DMSO)	113 112 (113)	9 11 (10)	28 29 (29)	26 30 (28)	10 10 (10)
	0.61	107 111 (109)	6 6 (6)	28 23 (26)	30 30 (30)	8 9 (9)
	1.22	107 101 (104)	8 5 (7)	27 26 (27)	30 29 (30)	7 7 (7)
	2.44	110 117 (114)	8 5 (7)	26 23 (25)	30 35 (33)	9 7 (8)
	4.88	108 109 (109)	7 4 (6)	25 25 (25)	29 28 (29)	6 6 (6)
	9.77	106 96 (101)	4 9 (7)	27 25 (26)	27 30 (29)	6 8 (7)
	19.5	31 * 38 * (35)	5 * 5 * (5)	22 * 21 * (22)	19 * 16 * (18)	2 * 4 * (3)
陽性対照	名称	AF-2	SAZ	AF-2	AF-2	[CR-191
	用量(μ g/プレート)	0.01	0.5	0.01	0.1	1.0
	コロニー数/プレート	496 542 (519)	234 258 (246)	87 82 (85)	350 386 (368)	1379 1254 (1317)
	名称	B[a]P	2AA	2AA	B[a]P	B[a]P
	用量(μ g/プレート)	5.0	2.0	10.0	5.0	5.0
	コロニー数/プレート	972 1021 (997)	303 329 (316)	640 637 (639)	388 400 (394)	90 111 (101)

(備考)

AF-2 : 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド
 SAZ : アジ化ナトリウム
 [CR-191 : 2-メトキシ-6-クロロ-9-[3-(2-クロロエチル)アミノプロピルアミノ]アクリジン・2HCl
 B[a]P : ベンゾ[a]ピレン
 2AA : 2-アミノアントラセン

*: 被験物質による生育阻害が認められたことを示す。
 ()内は、2枚のプレートの平均値を示す。

(別表4)

試験結果表 (本試験2回目)

被験物質の名称: N-デシル-N,N-ジメチルデカン-1-アミニウム・クロリド

No. T-2578

試験実施期間		2018年1月11日 より 2018年1月15日				
代謝活性化系の有無	被験物質の用量 (μ g/プレート)	復帰変異数(コロニー数/プレート)				
		塩基対置換型			フレームシフト型	
		TA100	TA1535	WP2uvrA	TA98	TA1537
S9Mix (一)	陰性対照 (DMSO)	96 113 (105)	7 11 (9)	19 21 (20)	20 15 (18)	8 7 (8)
	陰性対照 (DMSO)	136 120 (128)	10 10 (10)	31 31 (31)	33 28 (31)	9 7 (8)
S9Mix (+)	0.61	96 98 (97)	7 10 (9)	25 27 (26)	26 34 (30)	5 7 (6)
	1.22	94 101 (98)	10 8 (9)	32 27 (30)	24 31 (28)	13 7 (10)
	2.44	102 110 (106)	11 8 (10)	27 30 (29)	22 26 (24)	4 8 (6)
	4.88	117 109 (113)	6 6 (6)	31 27 (29)	26 26 (26)	10 5 (8)
	9.77	108 106 (107)	9 7 (8)	27 26 (27)	23 25 (24)	13 7 (10)
	19.5	38 * 51 * (45)	4 * 4 * (4)	12 * 12 * (12)	23 * 22 * (23)	4 * 6 * (5)
	名 称	AF-2	SAZ	AF-2	AF-2	ICR-191
	用量 (μ g/プレート)	0.01	0.5	0.01	0.1	1.0
コロニー数/プレート	492 488 (490)	387 367 (377)	86 90 (88)	336 353 (345)	1278 1376 (1327)	
陽性対照	名 称	B[a]P	2AA	2AA	B[a]P	B[a]P
	用量 (μ g/プレート)	5.0	2.0	10.0	5.0	5.0
	コロニー数/プレート	1039 1190 (1115)	315 330 (323)	630 632 (631)	365 379 (372)	97 99 (98)

(備考)

AF-2 : 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド

SAZ : アジ化ナトリウム

ICR-191 : 2-メトキシ-6-クロロ-9-[3-(2-クロロエチル)アミノプロピルアミノ]アクリジン・2HCl

B[a]P : ベンゾ[a]ピレン

2AA : 2-アミノアントラセン

*: 被験物質による生育阻害が認められたことを示す。

()内は、2枚のプレートの平均値を示す。

図 1

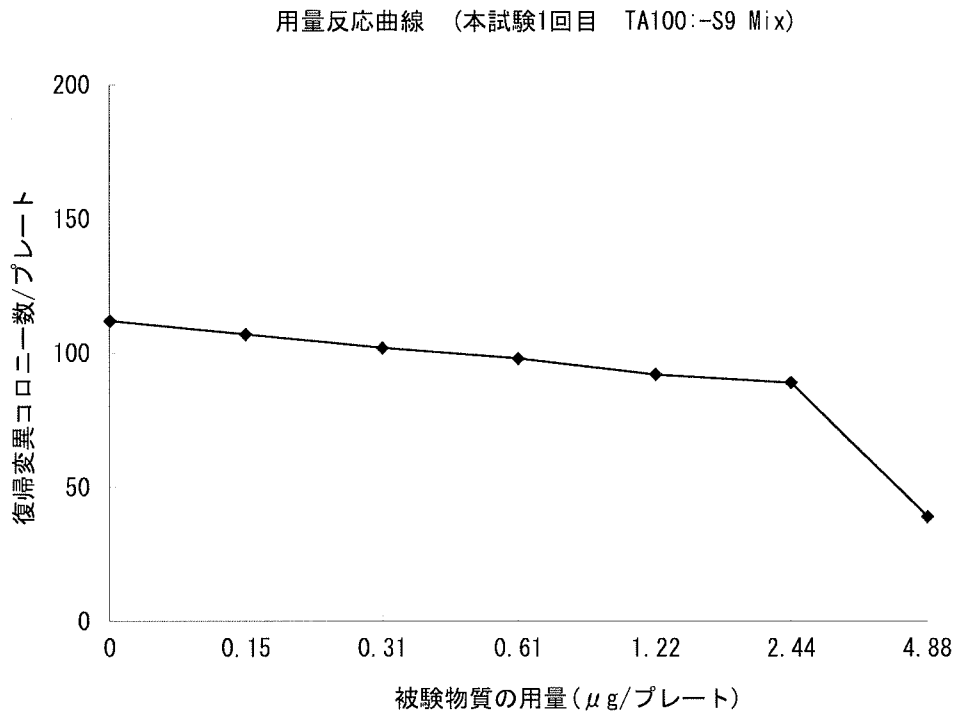


図 2

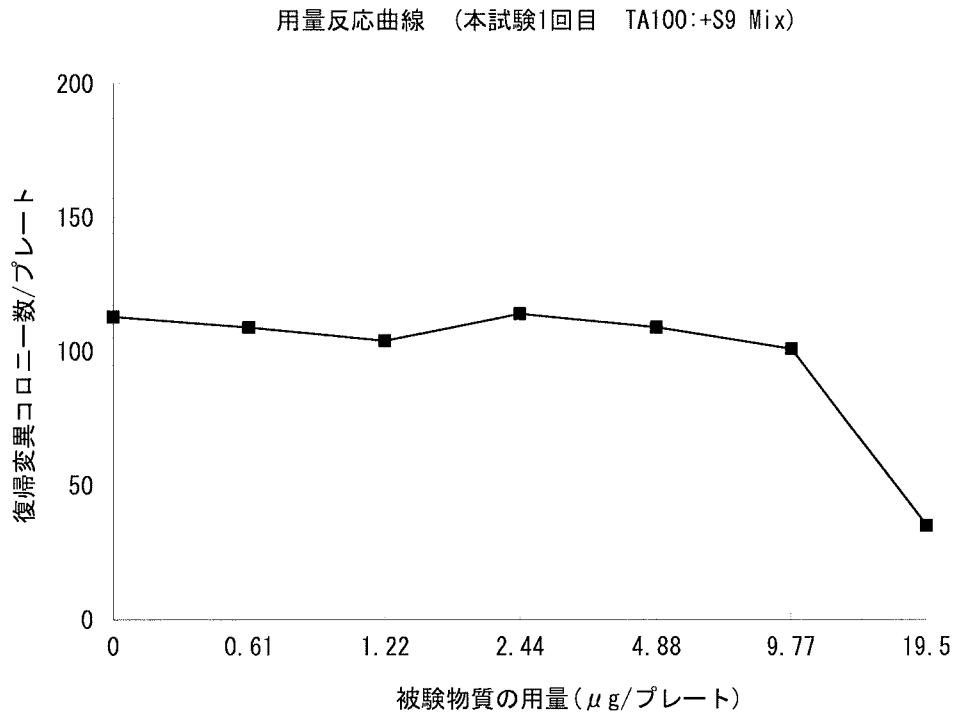


図 3

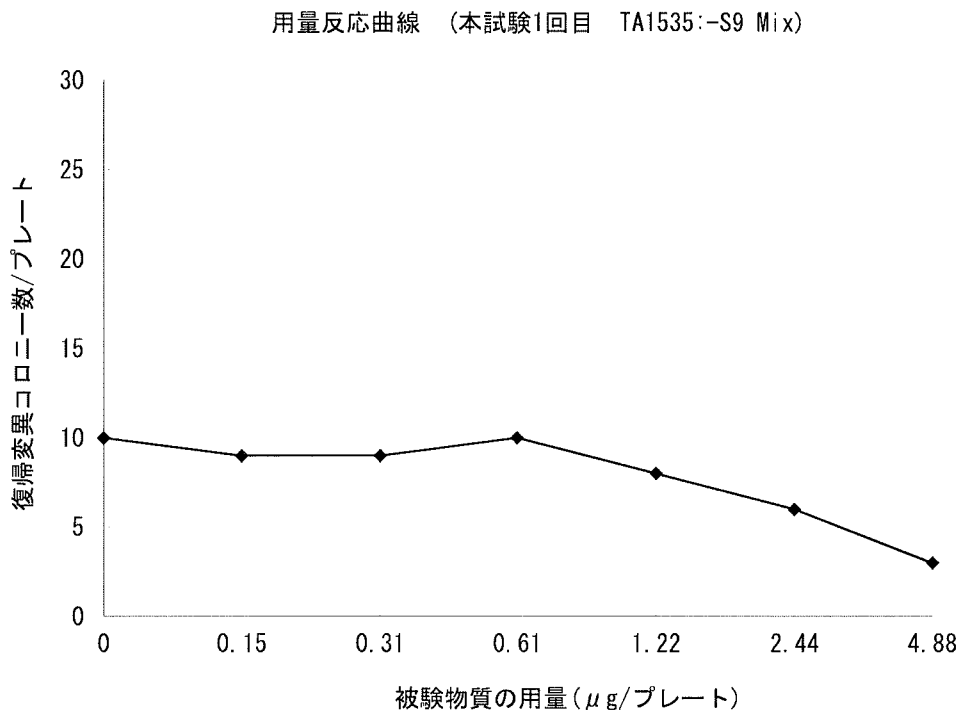


図 4

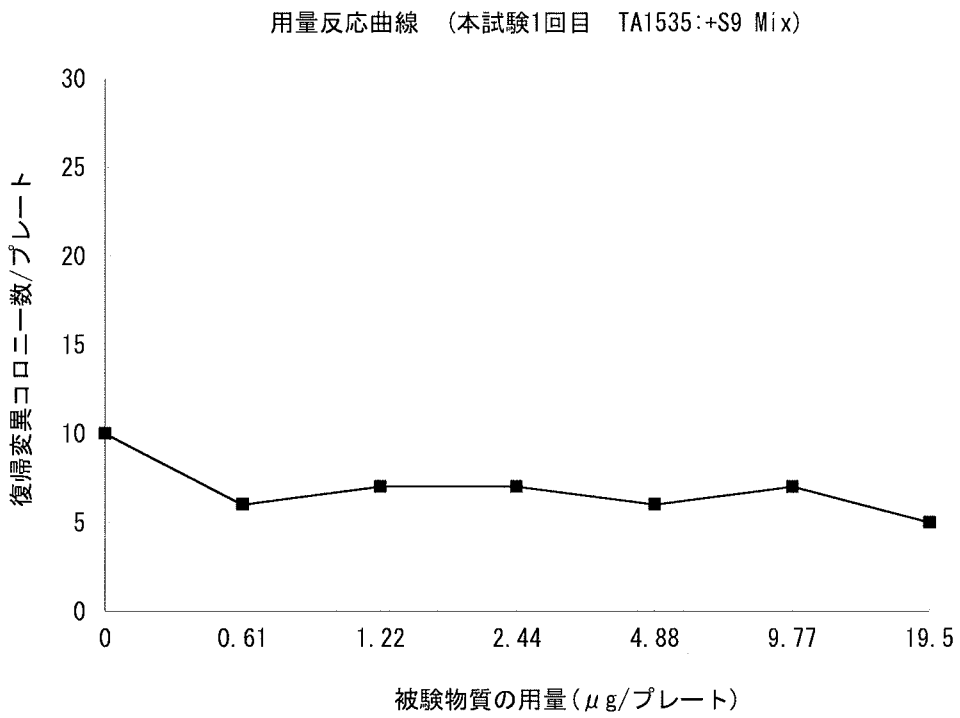


図 5

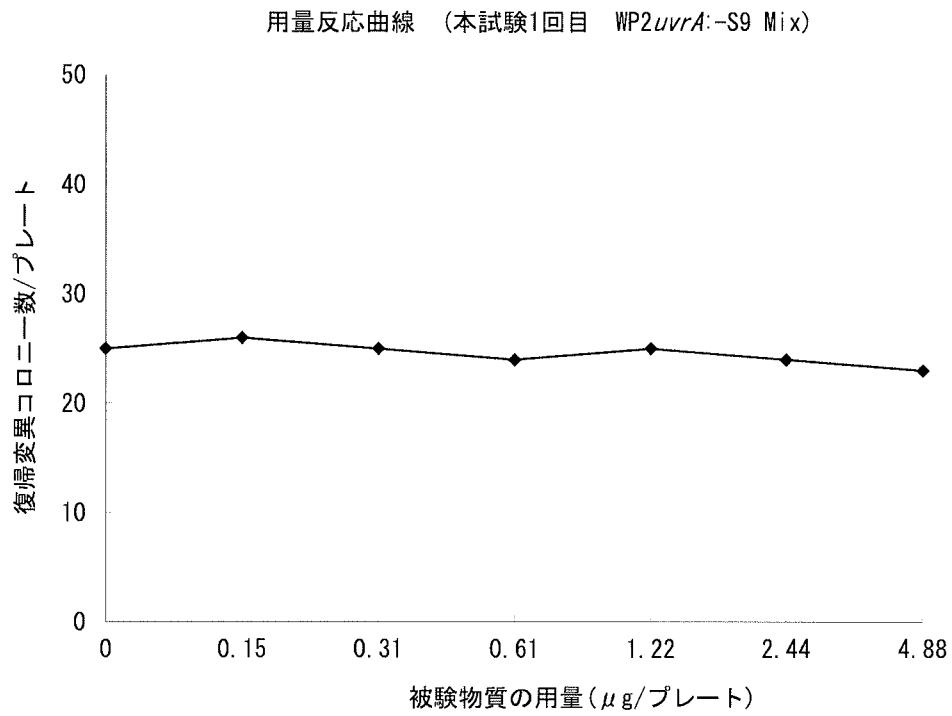


図 6

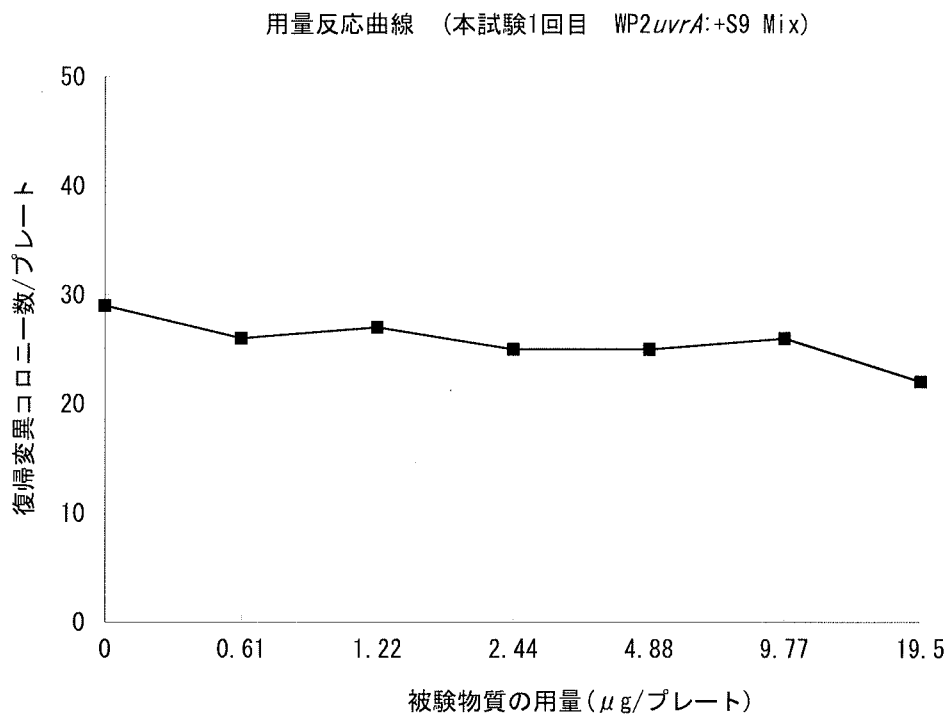


図 7

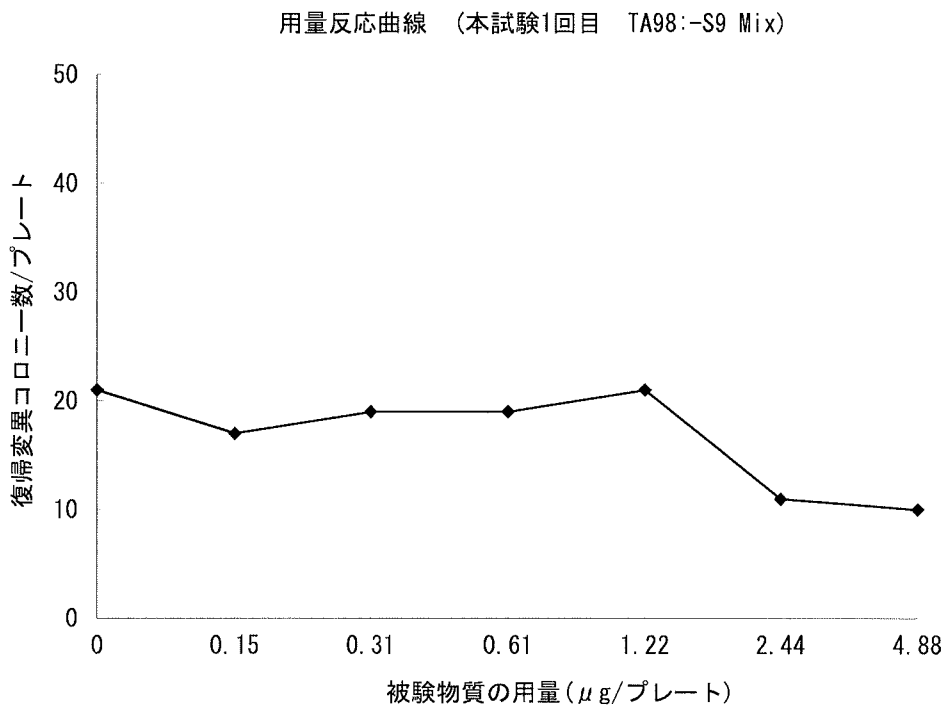


図 8

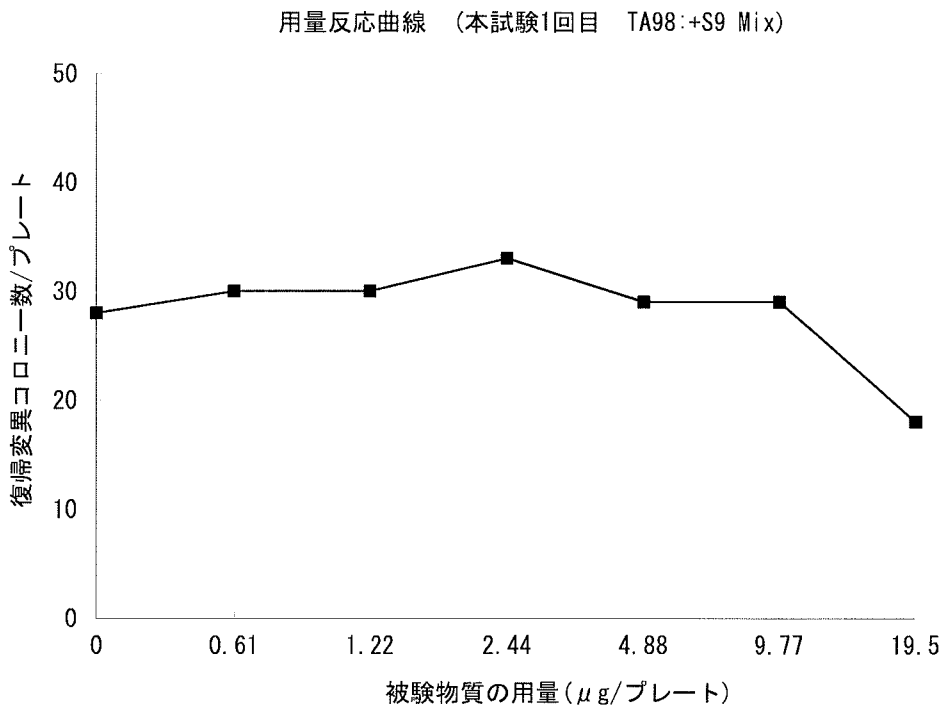


図 9

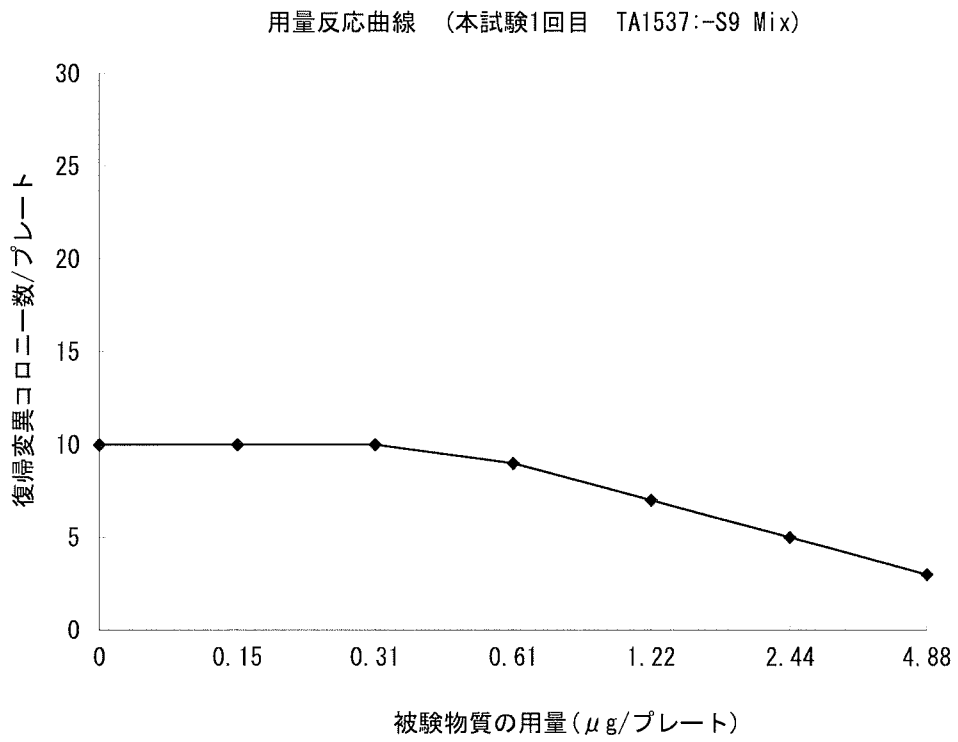
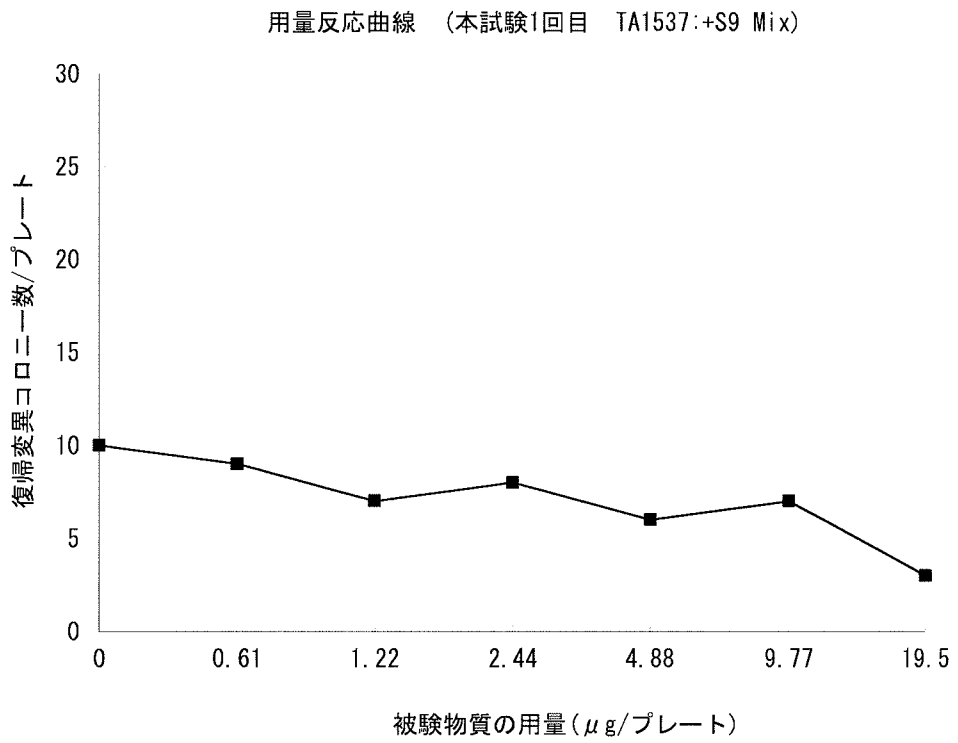


図 10



**Background Data of the reverse mutation tests in bacteria
at the Tokyo Laboratory of the BoZo Research Center Inc.**

CODE No. :170801

Period : From July 25, 2017 to July 31, 2017

(Pre-incubation Method)

Tester Strains	S9 Mix (-) or (+)	Classification	Mean	S.D.	Management ranges		Number of plates
					Lower limit	Upper limit	
TA100	-	Solvent control	94	13.1	54	133	32
		Positive control AF-2(0.01µg/plate)	510	65.1	326	693	32
	+	Solvent control	114	13.6	76	152	32
		Positive control B[a]P(5.0µg/plate)	1004	96	733	1275	32
TA1535	-	Solvent control	8	2.63	1	16	32
		Positive control SAZ(0.5µg/plate)	252	73.5	33	471	32
	+	Solvent control	9	3.14	1	18	32
		Positive control 2AA(2.0µg/plate)	267	71.5	59	475	32
WP2 _{uvrA}	-	Solvent control	20	6.02	3	38	32
		Positive control AF-2(0.01µg/plate)	77	19.9	54	101	32
	+	Solvent control	20	6.20	2	39	32
		Positive control 2AA(10.0µg/plate)	611	55	464	758	32
TA98	-	Solvent control	18	4.31	2	33	32
		Positive control AF-2(0.1µg/plate)	360	51.4	252	468	32
	+	Solvent control	29	7.05	10	49	32
		Positive control B[a]P(5.0µg/plate)	372	30.2	282	461	32
TA1537	-	Solvent control	12	3.58	1	22	32
		Positive control ICR-191(1.0µg/plate)	1067	158	427	1708	32
	+	Solvent control	13	3.18	3	22	32
		Positive control B[a]P(5.0µg/plate)	121	22.0	63	178	32

(Notice)

Solvent controls Dimethylsulfoxide(DMSO)

Positive controls AF-2 : 2-(2-furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide

SAZ : Sodium azide

ICR-191 : 2-methoxy-6-chloro-9-[3-(2-chloroethyl)aminopropylamino]acridine·2HCl

B[a]P : Benzo[a]pyrene

2AA : 2-aminoanthracene

S9Mix (-) : without metabolic activation

(+) : with metabolic activation